

# 「外来ポリコナゾール使用患者における血中濃度測定の意味」

## 研究へのデータ利用についてのお知らせ

### ○ 研究の意味・目的

ポリコナゾールは、有効性と安全性の面から、血中濃度測定およびモニタリング（以下、TDM）が推奨されている薬剤です。抗菌薬 TDM ガイドライン（2016）では、TDM 目標値が設定され、「外来治療においても長期使用例では TDM 実施が望ましい」との記載があります。しかし、外来におけるポリコナゾールの使用状況や、TDM の時期や頻度についての報告は少ないのが現状です。

今回、外来でのポリコナゾールの使用状況や問題点、TDM の実施状況を明確にすることを目的に、本研究を計画しました。これにより、外来でのポリコナゾール使用における問題点や、血中濃度測定の意味が明らかになると予想されます。

### ○ 研究対象者

2015年4月から2017年3月までに、広島大学病院外来を受診され、外来にてポリコナゾール錠（ブイフェンド錠）を処方された方。

### ○ 研究方法

本研究では、電子カルテのデータを用いて、血中濃度値や検査値を調査します。得られたデータは、氏名などの個人情報を除いて匿名化した後、統計学的手法を用いて比較検討します。

### ○ 研究期間 承認日から2020年3月まで

### ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。

お申し出いただいても今後の治療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5572

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 嶋田 江理嘉（研究担当者）